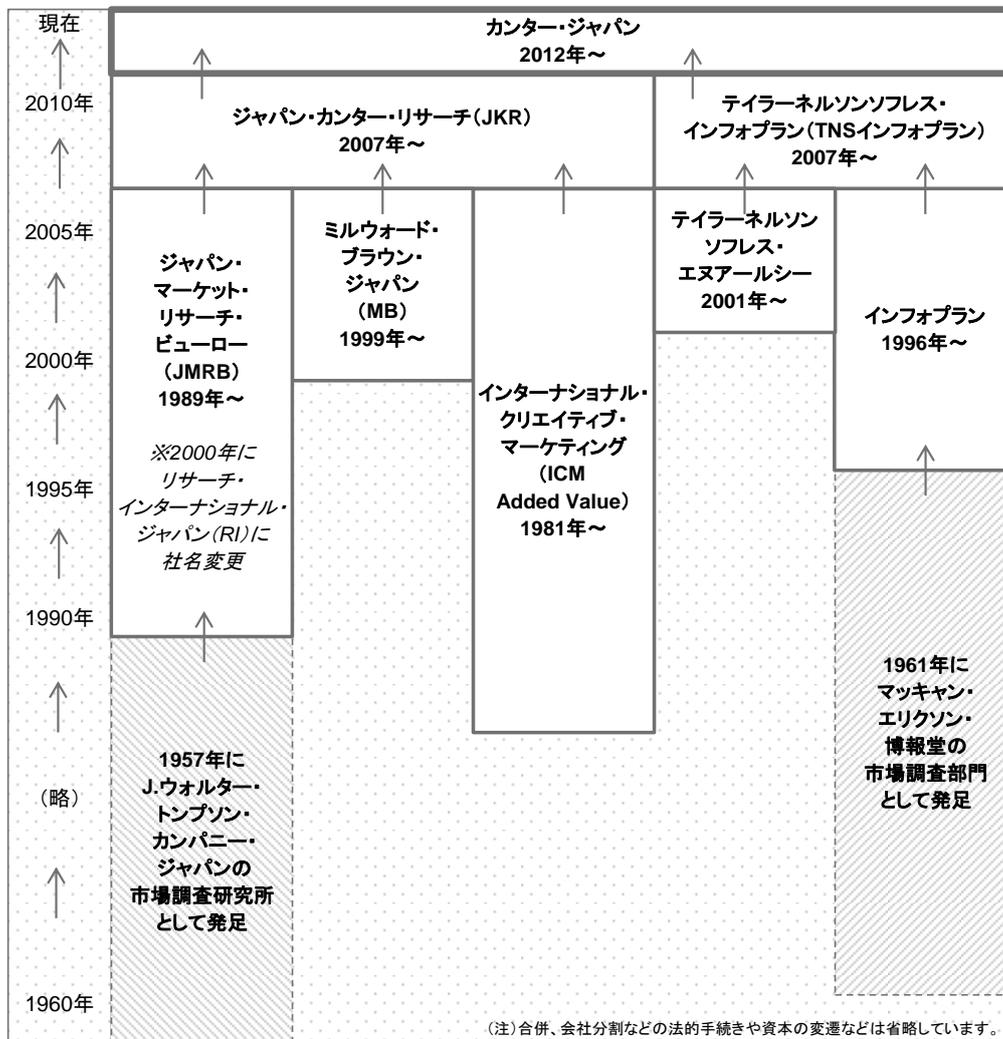


市場調査の分野で50年超

～会社沿革について～

現在のカンター・ジャパンは、2012年1月にテイラーネルソンソフレス・インフォプラン（通称：TNSインフォプラン）が社名変更してできました。“カンター”の名称は、日本ではまだそれほど知られていませんが、実は調査会社としての歴史は古く、1950年、60年代までさかのぼります。

－ 会社の変遷図 －



カンター・ジャパン(の前身企業)は、広告代理店の一事業部から事業を徐々に拡大し、1975年の日本マーケティング・リサーチ協会(の前身機関)の設立に携わるなど、業界の活性化にも貢献してきました。

■ カンター・グループと日本事業

カンター・ジャパンの属するカンター・グループは、13の企業(グループ)で構成されています。海外では、それぞれの企業(グループ)が個別に、または協力して事業を行っていますが、日本は異なります。すなわち、カンター・グループのそれぞれの企業(グループ)が持つサービスから、顧客の課題に最適な解決手段を提案・実施するのが、カンター・ジャパンの事業運営の考え方です。



これを実現するために、2007年以降次のような事業再編が行われました。

<第1の再編>

リサーチ・インターナショナル・ジャパン(通称:RI)*、ミルウォード・ブラウン・ジャパン(通称:MB)、インターナショナル・クリエイティブ・マーケティング(通称:ICM Added Value)の3社が統合し、ジャパン・カンター・リサーチ(通称:JKR)ができました。

<第2の再編>

2008年にカンター・グループの親会社に当たる WPP が、テイラーネルソン・ソフレス(グループ)(通称:TNS)を買収しました。これを受けて、日本では、まず、2010年にTNSの日本支社(TNS インフォプラン)とJKRのオフィス統合が実施され、東京都渋谷区代々木に本社が移りました。

そして、2012年に TNS インフォプランを社名変更する形でカンター・ジャパンが発足し、JKRの業務もカンター・ジャパンに統合されました。

*海外のリサーチ・インターナショナル(グループ)は、現在 TNSに統合されています。

■ 会社概要

- ・ 社名:株式会社カンター・ジャパン
- ・ 本社:東京都渋谷区代々木 2-1-1 新宿マインズタワー6F、7F
- ・ 代表取締役:宮島正敬
- ・ 事業内容:市場調査、およびそれに付随するアドバイザリー業務
- ・ ウェブサイト:<http://www.kantar.jp>